



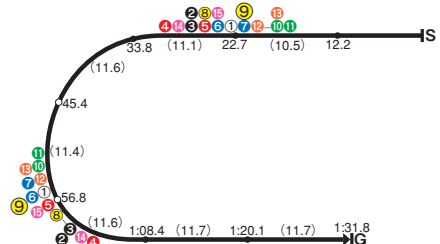
N.Inaba

THE VICTORIA MILE 第19回 ヴィクトリアマイル (GI)

1着 賞130,000,000円 2着 52,000,000円 3着 33,000,000円 4着 20,000,000円 5着 13,000,000円
 付加賞 3,150,000円 900,000円 450,000円



牝、4歳以上、除未出走馬および未勝利馬
 負担重量 56kg



2024.5.12 東京 曇・良 芝1600m (国際 指定)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑨	テンハッピーローズ	牝6	56	津村明秀	1:31.8	10-8	33.9	458(-4)	208.6⑨	高柳大輔(栗東)	112
2	②	フィアスプライド	牝6	56	C.ルメール	1¼	3-3	34.9	470(-8)	12.5④	国枝 栄(美浦)	109
3	⑥	マスコトディーヴァ	牝4	56	J.モレイラ	クビ	7-8	34.1	454(-2)	2.3①	辻野泰之(栗東)	109
4	⑫	ドゥアイズ	牝4	56	鮫島克駿	クビ	7-6	34.4	472(+4)	65.8⑩	庄野靖志(栗東)	108
5	⑪	ルージュリナーシュ	牝5	56	横山和生	½	15-15	33.6	448(+2)	112.1⑧	宗像義忠(美浦)	107
6	⑤	ウンブライル	牝4	56	川田将雅	アタマ	5-6	34.6	474(-2)	9.4③	木村哲也(美浦)	107
7	⑩	モリアーナ	牝4	56	横山典弘	½	13-13	33.9	488(+6)	19.3⑥	武藤善則(美浦)	106
8	⑧	ナミュール	牝5	56	武 豊	クビ	13-13	33.8	452(-)	2.5②	高野友和(栗東)	106
9	③	スタンングローズ	牝5	56	西村淳也	1½	3-3	35.5	490(±0)	17.8⑤	高野友和(栗東)	103
10	④	サウンドビバーチェ	牝5	56	松山弘平	¾	5-5	35.2	506(±0)	82.7⑦	高柳大輔(栗東)	101
11	⑫	キタウイング	牝4	56	杉原誠人	1¼	12-11	34.7	444(+6)	337.9⑬	小島茂之(美浦)	99
12	⑭	フィールシンパシー	牝5	56	横山琉人	½	2-2	36.1	456(+2)	56.9⑩	清水久詞(栗東)	98
13	④	コンクシエル	牝4	56	岩田望来	3	1-1	36.7	476(+2)	29.8⑦	清水久詞(栗東)	92
14	①	ライラック	牝5	56	戸崎圭太	1½	9-8	35.8	440(+8)	56.7⑨	相沢 郁(美浦)	89
15	⑦	ハーバー	牝4	56	池添謙一	1½	10-11	35.7	468(-2)	36.2⑧	友道康夫(栗東)	86

単勝②20,860円(14%) 複勝⑨1,950円(14%) ②320円(4%) ⑥130円(1%) 枠連②-⑥11,100円(24%)
 馬連②-④93,690円(71%) ワイド②-④15,840円(72%) ⑥-⑧5,380円(44%) ②-⑥470円(3%)
 馬単②-④303,260円(158%) 3連複②-⑥④3,750円(101%) 3連単②-⑥②916,640円(1,007%)
 5重勝⑥⑤④③④446,057,430円(1票) 対象競走: 京都10R/東京10R/新潟11R/京都11R/東京11R

通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m
 33.8 - 45.4 - 56.8 46.4 - 35.0

アラカルト

- ・津村明秀騎手はヴィクトリアマイル初勝利。JRA重賞は本年3勝目、通算18勝目
- ・高柳大輔調教師はヴィクトリアマイル初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算6勝目
- ・エフィファネリア産駒はJRA重賞通算21勝目
- ・6歳馬の勝利は15年ストレイトガールに続く通算2回目
- ・単勝20,860円、馬連93,690円、馬単303,260円は各方式における本競走の最高払戻金額

テンハッピーローズ Ten Happy Rose

牝 栗毛 2018.2.26生
 北海道千歳市 社台ファーム生産
 馬主・天白泰司氏 栗東・高柳大輔厩舎
 馬名意味・冠名+幸福+母名の一部

オエノセラIRE系 F2-I

エピファネイア 鹿毛 2010	シンボリクリスエスUSA 黒鹿毛 1999	Kris S. Tee Kay
	シーザリオ 青毛 2002	スペシャルウィーク キプロブリミエールGB
フェータルローズ 栗毛 2009	タニノギムレット 鹿毛 1999	ブライアンスタインUSA タニノクリスタル
	プリムローズイヴ 鹿毛 2000	サンデーサイレンスUSA オエノセラIRE

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA M3×S4 Roberto S4×M4
 Hail to Reason S5×M5×M5
 Northern Dancer S5×M5

INTERVIEW

正岡 稔 牝馬調教主任(社台ファーム)

素質の高さは早くから掴んでいました

コロナ禍で千葉サラブレッドセールの現地開催が中止となりオンラインセールでの取引で天白オーナーに落札していただきました。馬体サイズに占める臀部の作りが大きな馬で、素質の高さは早くから掴んでいました。6歳のこの時期まで繁殖入りせず走らせた天白オーナーの思いが最高の結果をもたらしたことに感激したと同時に、津村騎手の涙にも胸を打たれました。

M.Takahashi



6歳牝馬が大波乱を巻き起す

昨秋のローズSを衝撃的なJRAレコードで快勝、前哨戦の阪神牝馬Sで重賞2勝目を挙げたマスコットデビューアと、マイルチャンピオンシップの覇者ナミュールが「二強」と目されたヴィクトリアマイルには、大波乱の結末が待ち受けていた。3、8着に沈んだ2頭を尻目に鮮やかな強襲を決めたのは14番人気、単勝2008・6倍とまったく軽視されていた6歳馬テンハッピーローズ。2着には4番人気のフィアスプライドが続ぎ、単勝、馬連、馬単の各式別でレース史上の最高払戻金額が更新された。

中山牝馬Sを逃げ切ったコンクシエが、内外からプレッシャーをかけられ

それでも引かずに先手を主張、速いラップを刻んでレースを引っ張る。課題のスタートを決めたマスコットデビューアは、3番人気のウンブライルと並んで好位勢の背後を進み、テンハッピーローズと津村明秀騎手は3馬身ほど離れた中団の外めを追走。ゲートで立ち遅れたナミュールは後方2番手で末脚を温存し、反撃の機会を窺った。

ハイペースで飛ばしたコンクシエは直線に向くと失速、3番手を追走してきたフィアスプライドが坂の上りで先頭に躍り出る。そこへ1頭、目を見張る勢いで襲い掛かってきたのがテンハッピーローズだった。持ったままの手心えでマスコットデビューアの外へ並びかけ、4コーナーを回った津村騎手が仕掛けると、馬は抜群の決め手を披露。先に抜け出したフィアスプライドをかわし、一気に先頭へ突き抜けた。

重賞の最高着順はアルテミスSの3着、オープンで挙げた勝ち星はリストテッド(朱鷺)の1勝のみ。良績が芝1400m戦に集中している距離実績からも、周囲の評価が低かったのも無理はない本馬だが、陣営は早くから行く手にマイルの大舞台を見据えてきたという。大きなポテンシャルを秘めた馬の主戦を託され、競馬を教え込んできた津村騎手はデビュー21年目、48回目のJRA・GI挑戦で初制覇を達成。悲願をついに叶えた中堅騎手の涙が、記録的な大波乱劇に彩りを加えた。

父エピファネイア

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、香、首14戦6勝(ジャパンC^{G1}、菊花賞^{G1}、神戸新聞杯^{GII}、ラジオNIKKEI杯2歳S^{GIII}、日本ダービー^{G1}2着、皐月賞^{G1}2着)、15年から供用、21~23年日本2歳リーディングサイヤー2位(代表産駒)デアリングタクト(桜花賞^{G1}、オークス^{G1}、秋華賞^{G1}、ジャパンC^{G1}3着)、エプフォーリア(皐月賞^{G1}、天皇賞(秋)^{G1}、有馬記念^{G1}、日本ダービー^{G1}2着)、ダノンデサイル(日本ダービー^{G1}、京成杯^{GIII})、ステレンボッシュ(桜花賞^{G1})、テンハッピーローズ(本馬)、サークルオブライフ(阪神ジュベナイルフィリーズ^{G1})、アリストテレス(アメリカJCC^{GII}、菊花賞^{G1}2着)、ブローザホーン(日経新春杯^{GII}、天皇賞(春)^{G1}2着)、イズジョーノキセキ(アイルランドトロフィー府中牝馬S^{GII})、モリアーナ(紫苑S^{GII})、ジャスティンカフェ(エプソムC^{GIII})、セルバーク(中京記念^{GIII})、他に活躍馬多数

母フェータルローズ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央34戦3勝(太宰府特別) フェータルイヴ(16 牝父ノヴェリストIRE)中央12戦0勝 シャドウワルツ(17 牝父ノヴェリストIRE)中央10戦0勝、地方47戦0勝
テンハッピーローズ 本馬(18 牝父エピファネイア)中央24戦6勝(ヴィクトリアマイル^{G1}、朱鷺S・L、フリーウェイS、新発田城特別、信越S・L2着、アルテミスS^{GIII}3着) 獲得総賞金268,853,000円
 フェータルツアー(21 牝父エピファネイア)地方2戦0勝
 (22 牝父エピファネイア)
 (23 牝父ハービンジャーGB)
 (24 牝父オルフェヴール)
 ※19(生後直死)、20(不受胎)

祖母プリムローズイヴ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央0勝、地方1勝。11年死亡
 フェータルローズ(09 前出)
 プリムラブルガリス(10 牝父フレンチデビュティUSA)中央5勝(豊明S2回、皆生特別)、地方3勝(シアンモア記念2着)

曾祖母オエノセラIRE

独、仏、愛3勝(ロベルトフェルトメンゲス賞・独L、ノイズシュトゥッテン賞・独^{G3}2着)、97年輸入、11年用途変更、**サンドロップJPN Sundrop**(プリンセスエリザベスS・英^{G3}、カーディナルH・米^{G3}、Storm Damage(ビジネスベイチャレンジ・首L、ゴドルフィンマイル・首^{G3}3着)の祖母